

## 気候情報

### 2023年1月の日本の天候

- 全国的に気温の変動が大きかった
- 下旬の降雪量は西日本日本海側と西日本太平洋側でかなり多かった
- 降水量は東日本日本海側、北・東日本太平洋側、沖縄・奄美で少なかった一方、西日本日本海側で多かった
- 日照時間は北・東・西日本日本海側、北・西日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった

#### 1月の天気概況

上旬は北・東日本を中心に冬の気圧配置となった時期があった一方、西日本と沖縄・奄美を中心に高気圧に覆われやすい時期があった。中旬は冬の気圧配置となった日が少なく、北・東日本日本海側で高気圧に覆われた日もあった。一方、西日本を中心に低気圧や前線の影響でまとまった雨となった日があった。下旬は冬の気圧配置が強まり、強い寒気の影響を受けた時期があった。気温は、全国的に中旬は暖かい空気に覆われやすく高かった一方、下旬は強い寒気の影響を受けやすく低かったため、気温の変動が大きかった。

**上旬：**旬のはじめと終わりは北・東日本を中心に冬の気圧配置となり、10日は北海道で大雪となった所があった。2日から4日にかけて北海道を中心に強い寒気の影響を受けた。期間の中頃は冬の気圧配置が緩み、西日本や沖縄・奄美で移動性高気圧に覆われる日もあった。

旬平均気温は、北日本で低かった。東・西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、北・東日本太平洋側でかなり少なく、西日本日本海側、西日本太平洋側、沖縄・奄美で少なかった。北・東日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、北・東・西日本太平洋側と西日本日本海側でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。北・東日本日本海側では平年並だった。

**中旬：**旬の前半を中心に暖かい空気に覆われやすかった。北・東日本日本海側と沖縄・奄美では高気圧に覆われて晴れた日があった。北・東日本太平洋側と西日本では気圧の谷の影響を受けやすかった。13日から14日にかけては前線を伴った低気圧が本州付近を通過した影響で西日本を中心にまとまった雨となった所があった。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。

旬降水量は、北日本日本海側でかなり少なく、東日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。一方、西日本日本海側でかなり多く、西日本太平洋側で多かった。北・東日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、北・東日本日本海側でかなり多かった。一方、北・東・西日本太平洋側と西日本日本海側で少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

**下旬：**低気圧が日本海と本州南岸付近をたびたび通過し、低気圧の通過後は冬の気圧配置となった。旬の中頃は冬の気圧配置が強まり、強い寒気の影響を

受け、日本海側を中心に太平洋側の一部でも交通機関等に影響が出るような大雪となった所があった。沖縄・奄美では、旬の終わりに高気圧に覆われて晴れた日があった。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり低く、沖縄・奄美で低かった。

旬降水量は、北・東・西日本日本海側で多く、北・東日本太平洋側と沖縄・奄美で少なかった。西日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側と東日本太平洋側で少なく、北日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。東・西日本日本海側と西日本太平洋側では平年並だった。

#### 1月の気候統計

**月平均気温：**北日本で低く、東日本で高かった。西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

**月降水量：**東日本日本海側、北・東日本太平洋側、沖縄・奄美で少なく、西日本日本海側で多かった。北日本日本海側と西日本太平洋側では平年並だった。

**月間日照時間：**北・東・西日本日本海側、北・西日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった。東日本太平洋側では平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

#### 1月の記録 (1位更新のみ)

- ・月降水量の少ない方から (mm)  
室蘭 (北海道) 12.0
- ・月間日照時間の多い方から (h)  
釧路 (北海道) 221.9など4地点
- ・月最深積雪の大きい方から (cm)  
津 (三重県) 11など2地点

#### 2023年1月の平年差 (比) 図

